

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 言語学

試験科目 言語学

科目

以下の問 1 から問 4 に答えなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚とします。

問 1

以下の音の組み合わせについて、それらが共有する調音上の特徴を可能な限り多く挙げなさい。

1. [k] [g]
2. [s] [h]
3. [a] [d]
4. [ɸ] [p]
5. [i] [u]
6. [ts] [kp]

問 2

能動態(active voice)と受動態(passive voice)の違いについて、統語論・形態論・意味論の観点から説明しなさい。また、2 つまたはそれ以上の言語(たとえば日本語と英語)から受動文の例をあげ、言語間の異同を論じなさい。

問 3

比較方法(comparative method)による再建と内的再建(internal reconstruction)の共通点と相違点を具体的に説明しなさい。

問 4

以下の術語のうち 2 つを選び、それぞれ 4 行程度で説明しなさい。

- (i) 二重母音 (diphthong)
- (ii) 有生性 (animacy)
- (iii) 膠着語 (agglutinative language)
- (iv) 語彙素 (lexeme)

大学院入学試験問題
(一般入試) 社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語学 科目

(一) 次の項目のうち、五つを選んで知るところを述べなさい。

- ① P音考 ② ヴォイス ③ 悉曇 ④ 金田一春彦
⑤ 雨森芳洲 ⑥ 疊語 ⑦ 唐話辞書 ⑧ アスペクト

(二) 日本語の表記の特徴について論述しなさい。

博士前期課程

人文学

専攻

分野・専門

日本語学

大学院入学試験問題

一般入試
社会人入試

2025年度第2期

問題種別

専門試験

試験科目

古文解釈

科目

次の文章は、森田思軒（1861-97）の記した「翻訳の心得」（『国民の友』10号、1887年10月21日）の一部である。

☐ 枠内について、適宜補足しながら現代日本語に訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試 社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語資料解説 科目

次の資料は、『和名類聚抄』の一部である。この文献について知るところを述べなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

次の問 1 ～問 6 の中から 4 問を選び、答案用紙に答えを書きなさい。
答案用紙は 1 問につき 1 枚を使い、選んだ問題の番号を記入すること。

問 1

スピーチレベルシフトとは何か、具体例を挙げて説明しなさい。一般に、スピーチレベルシフトはどのような場面でよく観察され、それぞれの場面でどのような機能を果たすのかについて説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 2

A) 一般的に、以下の(1)(2)は不自然とされる。その理由を説明しなさい。

- (1) 花子はまだとても子供です。
- (2) 花子はもうとても大人です。

B) 一方で、次のような実例も存在する。なぜこのような使用がされるのか、その理由を説明しなさい。

- (3) それでも理想を求める自分が、とても子供だということもわかっている。見えている世界も、心もとても狭くてわがままな、自己中心的な子供だと。(BCCWJ; 穂高巴里『花雪の降る場所で』文芸社)
- (4) 二十歳くらいの時って私も年上の男性に憧れました。とてもオトナだし魅力的で、学生の自分の周りにはそういう雰囲気の人ってなかなかなくて…惹かれるトコいっぱいなんですよ。(BCCWJ; Yahoo!知恵袋)

C) 次の文はどのように解釈できるか、説明しなさい。

- (5) 花子はとても母親です。
- (6) 花子はとても先生です。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 3

日本語の特殊拍とされる促音（っ）、撥音（ん）、長音（ー）を日本語学習者に教える際に留意すべき点について、考えを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目

科目

問 4

日本語のモダリティを、以下のように大きく 2 つに分けた。それぞれのグループは、どんな意味・機能や特徴を持つモダリティだろうか。また、それぞれのモダリティ形式の特徴について、知っていることを述べなさい。

A グループ

- (1) 彼は今頃アメリカに着いただろう。
- (2) 部長は風邪を引いているようだ。
- (3) 郵便物は全部ここに置いたはずだ。

B グループ

- (4) 書類はもっと丁寧に見直してください。
- (5) 来週、一緒に大阪に行きませんか。
- (6) 明日からもっと一生懸命勉強しよう。

大学院入学試験問題 (一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目

科目

問 5

「V1-疲れる」の V1 にどのような動詞が来るかを調べるため、日本語話者 50 人に 72 語の「V1-疲れる」について言えるか言えないかの二者択一テストを行った。その結果、言えると答えた人の割合 (%) を次の表に示す。これを見て「V1-疲れる」の V1 に来る動詞の特徴について分かることを述べなさい。

表 各「V1-疲れる」について言えると答えた人の割合 (%)

順	V1	%	順	V1	%	順	V1	%
1	歩く	100	26	逃げる	60	51	切る	22
	泳ぐ		27	噛む	58	52	進む	20
	遊ぶ			語る		迷う		
4	踊る	98		選ぶ		54	眠る	16
	歌う		攻める	55	驚く	14		
6	話す	96	30	投げる	54	56	暮らす	12
	叫ぶ		悩む	燃やす				
8	泣く	94	33	言う	52	58	寝る	8
	走る			並ぶ			困る	
	探す		35	叩く	50		休む	
11	しゃべる	90		持つ			居る	
12	書く	88	37	座る	48	62	溺れる	6
13	騒ぐ	86	38	聞く	46		帰る	
14	笑う	84		食べる			住む	
15	働く	82	40	飛ぶ	44	65	萌える	4
	待つ			作る		66	倦む	2
17	読む	80	42	乗る	42		泊まる	
	立つ		43	打つ	38	68	来る	0
19	登る	押す		咲く				
	動く	飲む		痛む				
21	怒る	76	46	壊す	36		光る	
22	戦う	74	47	集める	34		諦める	
	考える		48	見る	32			
24	鳴く	66	49	折る	26			
25	殴る	64	50	行く	24			

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 6

次の文には、受身文と受身文ではない文が混ざっている。典型的な受身文はどれか。なぜ典型的と言えるのだろうか。

- (1) 次郎は花子に惚れている。
- (2) 風でポスターがはがれた。
- (3) 次郎は才能に恵まれている。
- (4) 次郎は今日も先生に叱られた。

典型的な受身文をそうではない文と区別する特徴は何だろうか。形態的、構文的、意味的観点から考察しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 応用日本語学

試験科目

科目

※以下の問題 1 は全員解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。

問題 1 以下の (1) ～ (7) の中から 4 つを選び、説明せよ。その際、必要であれば具体例をあげること。

- (1) サジェストペディア
- (2) プロセスシラバス (可変シラバス)
- (3) 適性テスト
- (4) 聴解におけるトップダウン処理とボトムアップ処理
- (5) 「日本語教育の推進に関する法律」
- (6) 母音の無声化
- (7) あいづち

※以下の問題 2 ～ 4 の中から 2 間を選び、解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。答案用紙は 1 間につき 1 枚使用すること。答案用紙には、選んだ問題の番号を記入すること。

問題 2 日本語教育文法の観点から、動詞の活用について例をあげて説明しなさい。その際に、国文法の活用と比較しながら、活用形の意味と機能に重点をおいて述べよ。

問題 3 タスク中心の教授法 (Task-based language teaching) は、従来の教授法に見られるいくつかの限界を補完するために生まれた。タスク中心の教授法について説明し、従来の教授法をどのように改善しようとしたのかを述べよ。

問題 4 日本語教育の現場で、協働学習を支援するツールとして、LMS (Learning Management System、学習管理システム) を活用したい。LMSのどの機能をどのように活用するか、具体例をあげて説明せよ。

- ・専門筆記試験の出題の意図

名古屋大学大学院人文学研究科の各学繫に置かれた教育プログラムに従って授業科目を履修し、研究指導を受けるにあたり必要となる十分な専門知識と研究能力を有しているかを、分野・専門ごとの論述問題によって問う。

- ・口述試験の実施方法や試験内容

受験者が志望する分野・専門の教員を含む複数名の教員により個別に面接（15分程度）を行い、卒業論文またはこれに代わるもの及び出身学校の学業成績等に係る試問により、当該分野・専門で修士学位論文の作成に向けた研究指導を受けるための基礎的な能力を有していることを確認する。